令和７年度　川津小学校　学校経営構想

１　教育の指標

しまね教育振興ビジョン（令和７年度－令和１１年度）

松江市教育大綱　基本理念　DREAMS　from　MATSUE～ふるさと松江から、夢を実現し未来を切り拓く～

基本方針Ⅰ生きる力をもった子どもたちの育成　Ⅱ一人一人の育ちと学びを支える体制づくり
Ⅲ子どもたちの教育環境の充実　Ⅳ生涯における心豊かに学び合う環境づくり

２　川津小学校教育の目標

ふるさとや仲間とのあたたかいつながりの中で、自ら考え、最後までやりぬく川津っ子の育成

＜めざす学校像＞

〇子どもにとって、学ぶ楽しさが味わえ、夢がもてる場に（子ども一人一人を大切にする学校）
〇保護者にとって、子どもの成長が見える場に（保護者を大切にする学校）
〇地域にとって、世代をこえたふれあいの場に（地域を大切にする学校）
〇職員にとって、やりがいのある自己成長の場に（職員を大切にする学校）

＜めざす児童像＞

◇か　考え表現できる子
・自ら学ぼうとする姿
・友達の思いを受けとめたり、自分の思いを伝えたりしようとする姿

◇わ　輪になって助け合う子
・自他の立場や思いを大切にする姿
・互いが支え合うことを大切にする姿

◇つ　続けてあきらめずに取り組む子
・自分のめあてに向かって粘り強く取り組む姿

＜めざす職員像＞

〇愛情あふれる温かさと厳しさをもつ、信頼される職員
〇子どもの目線で物事を考え、子どもの成長に喜びを感じる、心豊かな職員
〇専門職としての使命感をもち、常に資質の向上をめざす、学び続ける職員
〇互いを尊重し、共に声をかけ合って高め合う、協働する職員

◎人権教育目標

◇人間の尊厳を自覚し、いじめや差別をなくす強い意志と連帯して問題を解決していこうとする実践力のある子どもを育てる。

※令和６年度学校評価より

〇保護者の願い～期待する子どもの姿
・人の痛みが分かり、よさを認め合い助け合おうとする思いやりの心
・目標に向かって根気強く努力していこうとする態度
・思いや考えを伝え合い、よい人間関係を築いていこうとする意欲や態度

〇課題
・気持ちのよいあいさつ
・メディアとの付き合い方
・読書や図書館活用

今年度の重点目標

〇 学びづくり　：自分（自分たち）の目標を設定しそれをやり遂げる力を高めたり、論理的な見方や考え方、豊かな感性を培ったりすることにつなげる学習活動をつくる。
〇 なかまづくり：教職員と子どもとのあたたかなつながりを強め、安心して学んだり生活したりすることができる集団をつくる。
〇 くらしづくり：「学びづくり」と「なかまづくり」の支えとなる、心身の活力をつくる。

【子どもと教職員の合言葉】
やる気・勇気をもって　粘り強く　チャレンジ

【大切にしたいこと】
＊やる気・勇気の原動力となる「夢」「目標」を一人一人がもつことができるようにするための支援
＊一人一人の「ひたむきさ（粘り強さ）」を支える周囲の「あたたかさ」の意識

３　学校経営の具体的方策

（１）川津っ子の育成

①自ら考える子

〇学ぶ楽しさ、「わかる・できる」が実感できる授業づくり

・「松江の授業づくり（川津小バージョン）」を活用し、ねらい、活動の流れ、具体的支援を明確にした学習を展開する。

・他者の思いを受けとめながら自分の考えを深め、広げる活動を、各教科等の中に計画的に取り入れる。

〇ICT 機器の活用

・個に合わせた課題解決方法、論理的な思考を身に付けるために、ICT 機器を計画的に活用する。

〇基礎学力の定着に向けた取組

・朝の活動と家庭学習の継続により基礎学力を高める。

〇学校図書館活用と読書活動の推進

・「学習センター」「情報センター」機能を活用し、主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善を行う。

・朝読書、読み聞かせ等による読書活動の充実を図る。

②仲間とつながる子

〇人権教育の推進

・道徳の時間、同和問題学習、紫雲丸学習の実践と充実を図ることにより、自他を大切にする心を耕し、実生活での行動につなげる。

・自他の認め合いの場と時間の設定をし、一人一人の思いが大切にされ、お互いの支え合いにより生活していることが実感できるようにする。

〇生徒指導の充実

・子どもの自己決定や自主性と主体性を高めることをねらいとして持ち、学級活動、児童会活動、学校行事を計画的に実施する。

・あいさつ、ルールやマナーを大切にすることの意識化を図り、安心して学校生活を送ることができる風土づくりに取り組む。

〇特別支援教育の充実

・特別支援教育コーディネーター、学級担任、通級指導教室（母衣小学校）指導教員及び他の教職員との連携を図り、コミュニケーションスキル等について、個に応じた指導と支援を組織的に行う。

・特別支援学級を核とした理解教育の計画的に実施する。

③最後までやり抜く子

〇体つくりの推進

・歩き方、並び方、聞く姿勢などを意識付け、日々の生活の中で体幹を鍛える取組を進める。

・体育科の授業での運動量の確保、児童会活動と連携した休憩時間の外や体育館での遊びの励行等により、体力向上につなげる。

〇健康・安全教育の推進

・栄養教諭を中心とし、食育の充実を図る。

・学年に応じた電子メディアとの適切な関わり方の指導を通し、メディア接触による健康への影響等の理解を促す。

・生活リズムチャレンジウイークの取組により、基本的生活習慣の自己点検及び見直しと改善について意識できるようにする。

・自分の身は自分で守るための基礎的理解・スキルの習得を図るために学習活動を計画的に実施する。

〇教育相談の充実

・子どもと教職員、保護者と教職員とが、日常的に教育相談を進められる環境をつくる。

・スクールカウンセラーの活用を計画的に行う。

（２）信頼される学校づくり

①学校・家庭・地域の連携

〇保幼小中一貫教育の推進

・他校・園所と交流し、児童・生徒理解を図る。

・９年間を見通した学習規律・学習方法の習得を図る。

〇情報発信と誠意ある対応

・学校・学級だより、ホームページ、懇談会などで積極的な情報発信を行う。

・学校と保護者の関係づくりを心がける。

〇学校評価を生かした教育実践

・ＰＤＣＡサイクルを活性化する。

・学校評価を改善し工夫する。

②教職員の資質・指導力向上

〇授業力・指導力の向上

・全員が年間１回以上の授業研究を行うことで、授業力向上をめざす。

・校内外での研修を充実させる。（報告による情報の共有化）

〇働きがいのある職場づくり

・互いにつながり合い、学び合うことができる職員集団をつくる。

・早めの「ホウ（報告）」「レン（連絡）」「ソウ（相談）」と「記録」を心がけ連携して教育活動と危機管理を行う。

・心身の健康を維持するため、働き方の改善を図る。

③安心・安全な環境作り

〇教育環境の整備

・整理整頓を心がけ、校内の教育環境を整える。

・備品等の管理を徹底し、教材の有効な蓄積と活用を進める。

・学校事務職員を核として、文書の処理と管理の適正化を図る。

〇安全管理の徹底

・安全点検を隔月実施し、事故の未然防止に努める。

・個人情報の管理を徹底する。